

地域防災力充実強化の概要

1 背景



- (1) 想定を上回る自然災害の発生と大規模災害の切迫性からの課題
 ⇒ 行政による対応のみでは限界
 ⇒ 住民自身・相互の活動を整えるかが今後の課題

- (2) 普段から支え合う地域の関係構築が、災害時の被害を最小限に食い止める大きな役割を果たした過去の教訓

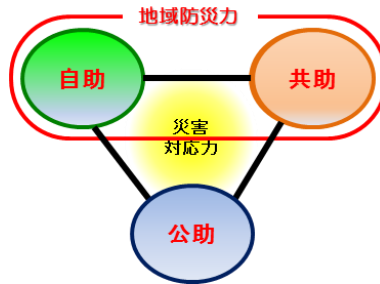
⇒ 地域の防災機能を高める「支え合う関係づくり」が必要



2 地域防災力充実強化の内容

- (1) 目標

地域防災力向上の実現

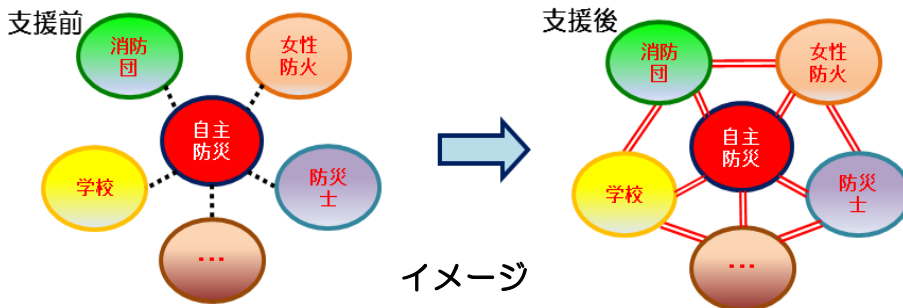


- (2) 内容(構想)

学区には防災に関連する団体として、自主防災会のほかに消防団、女性防火クラブなどがあり、防災士も活動されています。

これら団体が今まで以上に連携強化を図り、地域防災力を向上させていただきたいと考え、今回、消防局・団が学区自主防災会に提案させていただきました。

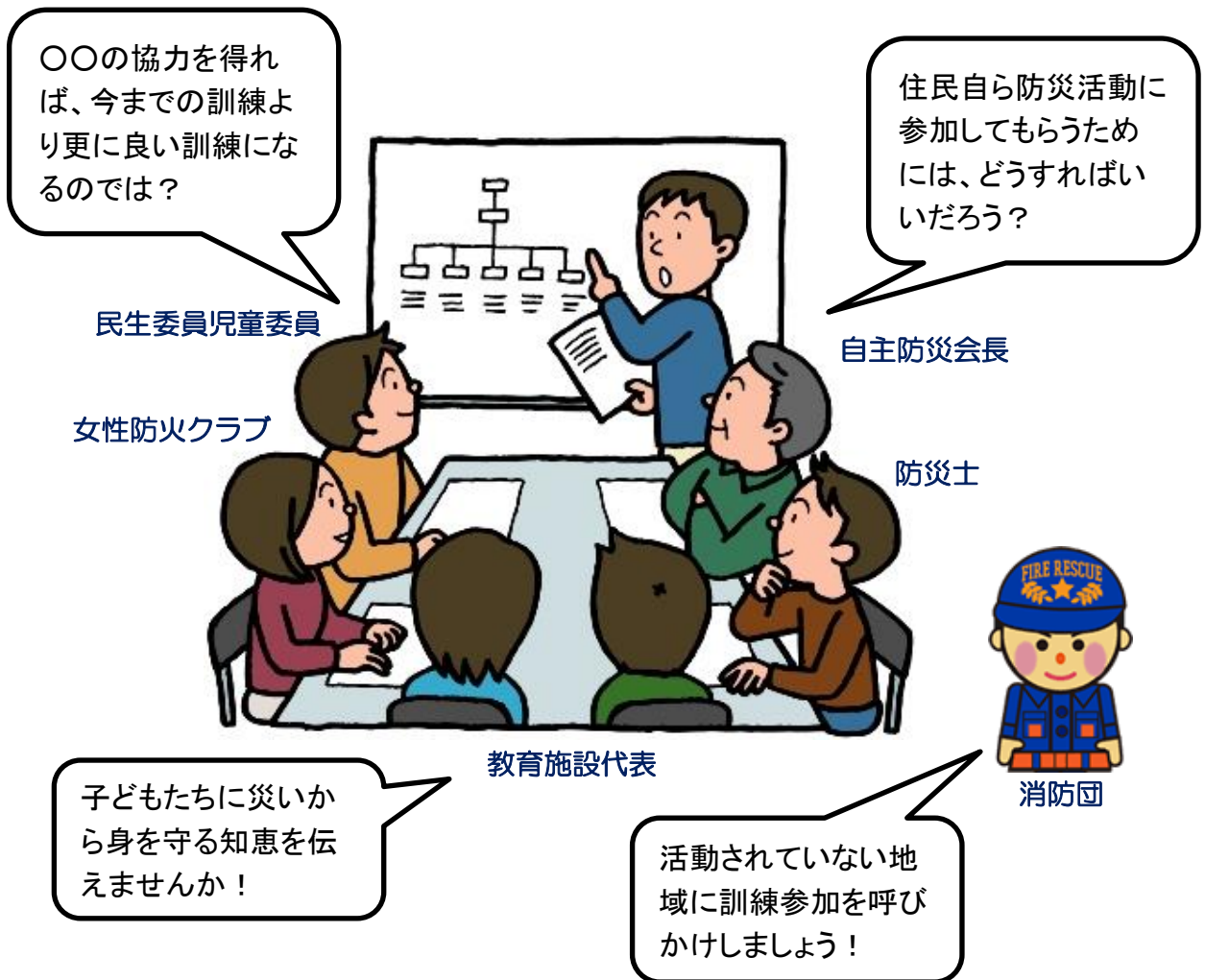
内容は、平時において避難誘導・消火・救急・救助活動の体制整備を進めていただくことを切っ掛けとして、住民主体の防災活動への参加機運を高めていただきたいと思います。



3 地域防災力充実強化事業のスケジュール

時期	学区自主防災会	消防局・団
R3年度 R4年度	学区自主防災会の意向調査に基づき支援する学区を選定し事業を開始 R3年度は6学区、R4年度は10学区の支援を実施	
R5年度	学区自主防災会の意向調査に基づき新たに10学区の支援を開始	
R6年度以降	【支援学区数の目標】 R5年度:26学区、R6年度:36学区 【支援年数の目安】 支援開始から概ね5年間	

〇〇学区自主防災連携強化会議のイメージ



学区で活動いただく具体的内容(例)

- 学区自主防災会が主体となる連携会議の開催
- 学区内における長・短所検討等(未活動地域の確認と対策)
- 地勢等に合致した学区防災訓練や研修会の検討と実施
- 地域自主防災会の活動(訓練実施、資機材整備)促進
- 振り返り(検証結果を翌年度ブロック防災圏意見交換会で発表)

—上図にある活動を支援—
消防局・消防署

